



知多市総合ボランティアセンター
(知多市社会福祉協議会)

知多市緑町 12 の 1
TEL : 0562-39-0800
FAX : 0562-39-0820
6月・12月発行



「山の広場」の音響板を焼き上げ、窯の解体作業をするボランティア
(音響板の大きさ 高さ3.6m、幅13m、奥行7m)



ボランティア講演会 アートでつながるボランティア

スティーブン・ウォードさん、ヒメナ・エルゲダさん芸術家夫妻が立ち上げた美浜町にある焼き物の野外劇場「山の広場」。総勢2000人のボランティアが参加し16年かけて造りあげました。今回は「山の広場」に込められた2人の思い、たくさんのボランティアと今も変わらないつながりをお話ししていただきます。

日時 平成31年1月19日(土)
13:30~16:00 (13:00開場)
13:30 開会・表彰式
14:00 講演

会場 知多市勤労文化会館 やまももホール

演題 Art and Community... now!
アートを通してコミュニティを作る

講師 スティーブン・ウォードさん
ヒメナ・エルゲダさん

参加費 無料、申込み不要



講師プロフィール

スティーブン・ウォードさん(写真右)はサンフランシスコ(アメリカ)に生まれ、ヒメナ・エルゲダさん(写真左)はサンティアゴ(チリ)に生まれる。2人は、1996年日本で出会い、翌年から共同制作をはじめ。数々のプロジェクトを立ち上げ、2007年NPO法人を共同で創設する。現在は現代美術などの作品を手がけている。



表彰されました

受賞団体は、多年にわたるボランティア活動の実践と、福祉の向上に努められた功績が評価されたものです。

県ボランティア活動功労者表彰

表彰式は9月6日、県庁で行われ、おはなし♥ぴん本パンは公共施設等での絵本の読み聞かせ、南粕谷 元気会は高齢者のための健康増進イベントなどの開催、自助グループたちは障がい者のための自助具の製作などの功績が認められたものです。

市長表彰

表彰を受けたのは知多ハーモニカサークル・南粕谷 おたすけ会・ミュージックベルサークル「ベルマザーズ」・若者応援隊「まなざし」・愛藍ハーモニーの5団体で、福祉施設や地域・団体などのイベントにおける演奏、地域の支援活動などのボランティア活動実績が認められたものです。表彰式は11月3日に勤労文化会館で行われました。



被災地で活動するボランティアは、活動保険の加入が必須となります。活動は泥出しや土の運び、子どもの世話など多岐にわたります。心構えとして「やりたい活動ではなく、



災害ボランティアセンター受付の様子

「待つのもボランティア」「被災地に迷惑かけない自己完結」が大変大事になります。もし、知多市で災害が起こり、自分や家族、隣近所の安全が確認できたら、ぜひ、災害ボランティアとして活動してください。また、被災した時は、自分(家族)だけで片付けるのではなく、災害ボランティアを頼ってください。困ったときはお互いさまで「困った」と言える「受援力」を育てましょう。



災害ボランティア活動風景(呉市)

知っていますか?
災害ボランティア

佐布里池梅まつり

おもてなしボランティアを募集!

今年度も佐布里池梅林で、2月9日から3月10日まで「第28回佐布里池梅まつり」が開催されます。毎年、延べ170人程のボランティアがおもてなしをしています。人とふれあうことが好きな方は、一緒におもてなしボランティアを始めてみませんか? 12月から受付開始になります。詳しくは当センターまでお問い合わせください。



福祉フェスティバル・産業まつり 多くのボランティアが活躍!!

10月27日・28日に「メディアス体育館ちた」などで福祉フェスティバルと産業まつりが開催されました。



募金に協力したよ



工作中に夢中



文字で伝える要約筆記



作るぞ!!ミニ四駆

人いきいきと

40



まえだ けんぞう
前田 健三さん
(梅が丘在住)

ボランティアのきっかけは?

50年続けているカメラの技術を人のために役に立てればと思い、個人ボランティアに登録しました。

カメラを始めたのはいつ?

入社後すぐに知人と山登りに行き、頂上の景色が素晴らしい。その後お祭りをテーマにした先生に付いて、京都の舞妓や岐阜の祭りなどを撮ってきました。カメラの機材や写真で6畳一間が

いっぱいです(笑)。

現在のボランティアは?

カメラのボランティアはまだやっていないのですが、

障がいの方と一緒に運動

障がいのある方と一緒に軽い運動をしているグループの障がい児・者運動クラブ「ふいつと」や、昨年からは梅まつりのおもてなしボランティアに参加しています。

ボランティアとして思うことは?

「ふいつと」のメンバーから「ありがとう」と言ってもらえたり、喜んでる姿を見ると自分自身も元気になります。協力できることがあったら手伝っていききたいです。

ボランティア以外の活動は?

週3回の囲碁ボール、新聞記事のスクラップ、孫たちのために野菜づくりや料理を楽しんでいきます。

今後は?

怪我をしないように気を付けて、今の活動をキープしたいですね。カメラはずっと続けていきたいです。

ボランティア研修報告

9月29日に、NPO 法人多文化共生リソースセンター東海代表理事の土井佳彦さんを講師に迎え「共生社会におけるボランティア～文化や世代を超えて～」と題してボランティア研修を行いました。

知多市に住んでいる外国人は約2000人。その人たちと共に暮らしていく(共生)には、やさしい日本語で伝える、漢字にふりがなを振る、カタカナ用語は使わないなど、具体的に話していただきました。



つぶやき

7月の豪雨災害に見舞われた広島県呉市天応地区へ、災害ボランティアセンターの運営支援に行ってきました。

初めて災害の現場で支援をさせてもらいましたが、地元の方が当時の状況や災害が起きる前の天応地区の話をしてくださったり、「遠い所からありがとうございます」

認知症啓発に につぶやくにこにこカルタ

日本福祉大学(美浜町)の学生グループが認知症の人への適切な接し方を自然に学んでもらおうと、作製したカルタです。

そのカルタは、市役所長寿課と社会福祉協議会で貸



仲間がふえたよ

《団体名》
ひびのきおく
《活動内容》
高齢者の集まる場所で、昔懐かしい道具に触れたりして、高齢者の健康増進に貢献します。

踊って健康スクエアダンス

知多フリッパーズ

カントリーミュージックなどの音楽にのせて、コーラー(指示者)の指示により動いたり、回ったりして踊る「スクエアダンス」。このダンスを楽しむ、普及に取り組んでいる団体が、「知多フリッパーズ」です。全員未経験から始め、72歳から始めた人は、84歳の現在も元気に活動しています。発足メンバーは今も8人在籍し、現在36人。小学生から80代の方まで幅広い年齢で活動しています。平成18年の発足から月日を重ね12年になり、記念行事のパー

ティーも企画しました。パーティーには全国からダンス愛好者が集まり、5周年には180人、10周年には200人ほどの参加があり、盛大に終わりました。また月1回、市内2つの小学校の学童保育を訪問し、子ども達と一緒に踊り、楽しんでいきます。

「スクエアダンスは踊ること
で体に良く、コーラーの指示を聞いて理解して踊るため、頭も使うので、認知症予防になる。」
「これからもマイペースに続けていきたい。声がかかれば、ど



記念行事パーティーの様子

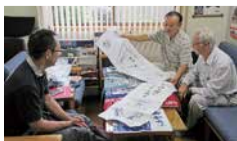
こへでも行きますよ。」と笑顔で語られました。
体と頭の健康のために一緒にダンスを楽しみましょう!

活動は:
毎週水曜日 18~21時
八幡まちづくりセンター
会員数 36人

ボランティアグループ協働事業(今年度は4つのボランティアグループと当センターが協働で事業を行っています。)

岡田の土産物開発とPR (岡田ゆめみだい)

知多の伝統産業である知多木綿を活かし、岡田を訪れた方への土産物を開発中です。試作のデザインに使用する4つの街並みのスタンプ案が固まりました。



防災・減災を考えよう! (防災活動支援チーム『やまびこ』)

8月26日に「防災・減災を考えよう」をテーマに、非常持出袋などの展示やAED体験などのコーナーに、約80人の方が訪れ、旭桃記念館で開催されました。



子育てイライラ解消講座 (子どもの幸せを願うネットワーク こども幸せねつと)

子育て中の誰もが経験するイライラ。その解消方法と、子どもとの適切な関わり方などフェミニストカウンセラーを講師に迎え、12月9日午前10時から勤労文化会館で開催されます。

ボランティアガイド スキルアップ講座 (観梅ボランティアガイドの会)

ガイドとして、おもてなしの気持ちを学ぶ講座や先進地の視察など、スキルアップ向上のための事業を4回開催しました。

